

参加者の意見は支所廃止反対一色でした

村上かずしげ議員は市議会での一般質問で、大楽毛などの支所廃止問題を取り上げ、「廃止方針の撤回」を強く求めました。これまで開催された3回の住民説明会の

全てに参加した村上議員。説明会を通して、「支所を残して」との市民の声が、いよいよハッキリしました。

支所のあり方に関する住民説明会は、合計9か所で予定されていましたが、3か所で開催されただけ。残り6か所はコロナの感染拡大で延期になっています。市は「廃止ありきの説明会ではない。市として廃止の方針をもったことを市民に説明して、みなさんの意見を聞いたう

えで最終的に決める」と言っています。そこで村上議員は説明会での意見は、賛成、反対何人、反対理由は何かと質問。「ほとんどの意見が反対であった以上、支所廃止はやめよ」と迫りました。

説明会での意見の賛否

支所廃止に反対の理由



廃止に賛成1人
廃止に反対32人
賛否を明言しなかった意見4人

- コンビニ交付が難しい 18件
- マイナンバーカードに反対 12件
- 支所は親切だから 6件
- 災害対策に支所は必要 3件
- 市役所が遠い 2件
- 市役所の待ち時間が長い 1件

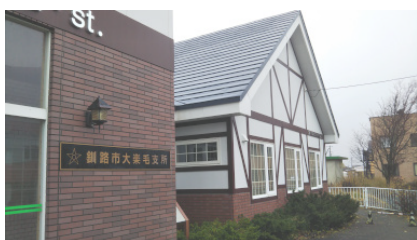
複数の反対理由を述べた人がいるので反対意見の本数と理由の件数は一致しません

そのうえで、村上議員は支所問題で次のような質問をしました。

- ◆今後の説明会の開催について、市民周知を徹底すべき。
- ◆阿寒病院の民営化の説明会では、市長が全会場で参加したことから、支所説明会でも、市長が報告し、直接市民の声を聞け。
- ◆大楽毛支所を建設が見込まれる児童センター、生活館、老人福祉センターの複合施設に入居させて、行政の機能強化をはかれ。
- ◆大楽毛支所が廃止されると駅に設置されているATMがなくなる可能性が高い。どうするつもりか。

支所は、地域と市のかげ橋になるべきです

説明会で拍手が起きました。「支所の役割は、証明書の発行だけではない。住民と市役所のかげ橋こそ、支所の役割ではないか」と参加者が発言したときです。



説明会で拍手が起きました。「支所の役割は、証明書の発行だけではない。住民と市役所のかげ橋こそ、支所の役割ではないか」と参加者が発言したときです。

地域固有の課題こそ支所に

支所があるところは、市役所から遠く、人口減、高齢化が目立つ地域です。地域の賑わいをどうつくるか、地域住民、商店街と一緒に汗を流すことこそ、支所職員が一番の仕事です。

大楽毛支所では、津波からいのちを守る地域づくりにも、しっかり取り組むべきと求めました。

ワンストップサービス

市役所は用件ごとに窓口が異

市民の声に従い廃止方針を撤回すべき

